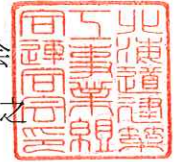


北建連発第 12 号
平成26年6月17日

一般社団法人北海道建設業協会
会長 岩田圭剛様

一般社団法人北海道建築工事業組合連合会
理事長 堀川隆之



「登録建築大工基幹技能者認定講習会」開催に係る周知等について（依頼）
日頃から、当連合会の運営に格別の御理解と御支援をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、当会上部団体の全建連が本年1月に国土交通省より「登録建築大工基幹技能者認定講習会」の登録教習機関に認定されたことから、道内においても本認定講習を積極的に展開できるよう上部団体と調整を図り準備に取り組んできたところですが、道内開催に係る開催地及び募集業務を当連合会が行うこととなり本年度の講習を次のとおり計画いたしました。

つきましては、業務御多忙のところ恐縮に存じますが、道内における登録建築大工基幹技能者の育成等趣旨を御理解賜り、講習開催、受講指導等につきまして貴協会会員方々への周知等御支援、御協力をくださるようお願い申し上げます。

なお、当会会員団体の所在地等地方開催につきましては、日程が決定次第お知らせいたします。

記

- | | | |
|---|------------------|----|
| 1 | 認定講習会のご案内（募集チラシ） | 1部 |
| 2 | 申込み関係書類（様式） | |
| | （1）受講申込み書 | 1部 |
| | （2）実務経験証明書 | 1部 |

一般社団法人北海道建築工事業組合連合会
事務局 長 川崎三男
TEL (011) 271-3244 FAX (011) 271-3246
E-mail:hokuken@ecnt.net

登録建築大工基幹技能者 認定講習会のご案内

道内での認定講習会の受講者募集は、北建連及び会員団体が行います。

登録講習機関

一般社団法人全国中小建築工事業団体連合会

(東京都中央区日本橋箱崎町 12-4 建設国保会館 2階 TEL 03-5643-1065)

受講者募集团体

一般社団法人北海道建築工事業組合連合会

(札幌市中央区南 1 条西 10 丁目 4 番地 168 ほくえいビル 505 号 TEL 011-271-3244)

登録基幹技能者とは

登録基幹技能者とは、建設業法に基づき国土交通省が認定した資格で、熟達した作業能力と豊富な知識を持つとともに、現場をまとめ効率的に作業を進めるためのマネジメント能力に優れ、認定講習を修了した技能者です。

登録基幹技能者の配置には、「品質」「工期」「安全」に係る施工方法の提案、技能者のサポート実施等を担う役割が期待されています。

登録建築大工基幹技能者に求められる役割

現場管理者を定めない住宅建築現場では、担当する大工技能者が施工過程全般に責任を負うことから、各専門工事業者に対する指揮・監督を行うなど、作業工程の全てを把握・管理しなければならないことから、登録建築大工基幹技能者には、各専門工事業者が選定した登録基幹技能者の管理・調整役として、高度な技能とともに、高い管理能力を併せ持つことが求められます。

登録建築大工基幹技能者資格取得のメリット

- 登録基幹技能者の所属する事業所は、国土交通省による経営事項審査の加点評価（3点）や、国又は地方自治体が行っている総合評価方式入札の加点対象になります。
- 登録基幹技能者の所属する事業所は、「施工品質」「安全性」「作業工程」等において一定の能力を保有していることの見込みとなり、事業所の信頼を高めることができます。

登録建築大工基幹技能者認定講習は、厚生労働省による助成金制度の対象

今年度から実施する本講習が「建設労働者確保育成助成金・技能実習コース」の助成対象となりました。同助成金制度は、中小建設事業主が雇用する労働者に対し、会社負担で講習を受講させた場合に経費の助成として受講料の8割、又は有給で講習を受講させた場合に賃金の一部（1人/1日/8,000円*2日間）が助成されるものです。

受給できる中小企業事業主の対象・条件がありますので、詳細は申請窓口の北海道労働局又はハローワークのホームページをご覧ください。

登録建築大工基幹技能者認定講習受講の要件（受講資格）

建築大工工事の施工実務経験が10年以上で、うち3年以上の職長経験があり、一級建築大工技能士又は建築施工管理技士（1級又は2級）資格を有していること。

講習カリキュラム

第1日目

9:00 ~ 9:10	開講・オリエンテーション
9:10 ~ 12:00	基幹技能一般知識に関する科目
12:00 ~ 13:00	昼食
13:00 ~ 15:20	基幹技能一般知識に関する科目
15:30 ~ 17:10	建設工事の施工、工程、資材管理 その他の技術上の管理に関する科目

第2日目

9:00 ~ 11:40	建設工事の施工、工程、資材管理、 その他の技術上の管理に関する科目
11:40 ~ 12:40	昼食
12:40 ~ 14:30	基幹技能関係法令に関する科目
14:40 ~ 14:50	修了試験についての留意事項
14:50 ~ 15:50	修了試験

講習実施計画等

コース番号	実施会場	実施日	申込締切日
1-1	道立職業能力開発支援センター (白石区東札幌5条1丁目1-2)	平成26年7月29日～30日	平成26年7月22日
1-2		平成26年9月11日～12日	平成26年9月1日
1-3		平成26年10月20日～21日	平成26年10月10日
1-4		平成26年12月8日～9日	平成26年11月28日
1-5		平成27年1月14日～15日	平成26年12月22日
8-1	苫小牧地域職業訓練センター (苫小牧市新開町4丁目6-10)	平成26年11月11日～12日	平成26年10月31日
8-2	岩内地域人材開発センター (岩内町字東山8-16)	平成26年11月18日～19日	平成26年11月7日
8-3	美唄地域人材開発センター (美唄市東明1条1丁目2-1)	平成27年1月27日～28日	平成27年1月16日

※その他、当連合会会員団体所在地域(旭川市、留萌市、北見市、釧路市、帯広市、函館市、室蘭市)にて開催予定。実施日が決定次第、当会ホームページ及び会員団体をとおして御案内いたします。

受講定員

会場予約の都合上から、1コースの受講定員を60名程度としています。

受付は先着順となりますので、定員外の受付となった方は、他コースへの変更をお願いすることになります。また受講者極小のコースは中止となる場合がありますので、あらかじめ御了承ください。(変更が生じた場合は、事前に連絡・調整をいたします)

受講料・振込先

- 1 札幌会場(道立職業能力支援センター)の駐車場又は近隣の駐車場は全て有料になっています。
- 2 札幌会場への公共交通機関の利用は、地下鉄東西線東札幌駅下車徒歩7分程度です。
- 3 ご不明がありましたら、お手数ですが当連合会事務局にお問い合わせください。

受講申込み

受講申込書に必要事項を記入し、写真2枚(縦30mm、横25mm)、実務経験証明書、資格者証(技能士又は施工管理技士)のコピー、4点を添付の上、申込み締切までに当連合会(下記住所)へご提出又はご郵送ください。

後日、受講票を受講者ご本人様にFAXにて送付いたします。

※ 申込書、証明書の様式は、全建連又は北建連のホームページからダウンロードできます。

その他・問合せ等について

受講料 30,000円

(テキスト、修了証交付手数料等、消費税含む)

※ 受講票受取後速やかに下記口座にお振り込みください。

振込先

北洋銀行 札幌西支店(普通)0598314
(一社)北海道建築工事業組合連合会
又は、ホッケンレン



一般社団法人北海道建築工事業組合連合会

登録建築大工基幹技能者認定講習受講者募集担当 事務局長 川崎 三 男

〒 060-0061
札幌市中央区南1条西10丁目4番地168 ほくえいビル505号室
TEL (011) 271-3244 FAX (011) 271-3246
E-mail:hokuken@ecnt.net http://www.giocities.jp/hokenren/

写真添付位置

正面カラー写真

縦3.0cm横2.4cm

登録建築大工基幹技能者認定講習会 受講申込書

			整理番号	
受講希望日	平成 年 月 日			
受講者	フリガナ			
	氏名	Ⓜ		
	現住所	〒 都道府県		
	性別	男・女	生年月日	昭和 年 月 日
	電話番号		FAX番号	
会社	フリガナ			
	会社名			
	住所	〒 都道府県		
	電話番号		FAX番号	
資格	※取得しているものに○印 (資格証の写しを添付)			
	1. 一級建築大工技能士 2. 一級建築施工管理技士 3. 二級建築施工管理技士			
経験年数	建築大工 経験年数	年	職長経験 年数	年
所属団体				

◆ 記入上の注意

1. 太線の枠内をご記入下さい。
2. 受講票は会社にFAX送付致しますので、会社のFAX番号を必ず記入して下さい。
3. 経験年数は、別紙の実務経験証明書に記載した年数と相違しないように記載して下さい。
4. 資格証の写しは、A4サイズの紙に写しをお取り下さい。



実務経験証明書

下記の建築大工工事に係わる受講申請者の実務経験の内容は、下記の通りであることを証明します。

証明者

会社名 _____ 会社印

代表者氏名 _____

役職印 _____

平成 年 月 日

受講者の氏名		証明者との関係	
受講者の生年月日	昭和 年 月 日 平成	建築大工の実務経験年数	年 月

受講資格に係わる実務経験の内容

職長欄	実務経験の内容	作業内容	実務経験年数
			~ 年 月 (年 月)
			~ 年 月 (年 月)
			~ 年 月 (年 月)
			~ 年 月 (年 月)
			~ 年 月 (年 月)
			実務経験年数合計 年 月
			上記年数の内、職長経験 年 月

※裏面に記入例、並びに記入上の注意を記載しています。ご確認ください。

誓約欄

この証明事項が事実と相違無いことを誓約いたします。

氏名 _____

印 _____



◆ 記入上の注意

1. 実務経験の証明者は、講習受講者が所属する会社の代表者とします。
2. 講習受講者が代表者ご本人の場合は、誓約欄に署名・捺印して下さい。
3. 証明者と講習受講者の関係は「社長と従業員」の様に記入して下さい。
4. 職長として従事した期間は職長欄に「職長」と記入して下さい。
5. 実務経験・作業内容は所属会社・職位ごとの内容を記入して下さい。

◆ 実務経験内容の記入例

職長欄	実務経験の内容	作業内容	実務経験年数
	A工務店・建築大工 住宅建築工事	木工事作業	平成 6年 4月 (7年 0ヶ月) ～平成13年 3月
	B工務店・主任 住宅建築工事	木工事作業	平成13年 4月 (5年 0ヶ月) ～平成18年 3月
職長	B工務店・職長 住宅建築工事	木工事作業	平成18年 4月 (6年 0ヶ月) ～平成24年 3月
			～ 年 月 (年 ヶ月)
実務経験年数合計			18年 0ヶ月
上記年数の内、職長経験			6年 0ヶ月